

研究課題名	シクロスポリン内服腎移植患者におけるアトルバスタチンの至適用量の検討
研究の意義・目的	カルシニューリン阻害薬のシクロスポリンやタクロリムスは、使用に伴い脂質異常症を発症します。そのため、アトルバスタチンが用いられますが、シクロスポリンと併用により血中濃度が上昇することが知られていますが、その至適投与量はあきらかではありません。そこで、本研究では腎移植後の患者におけるカルシニューリン阻害薬併用時のアトルバスタチンの至適用量を明らかにする目的で行います。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2009年1月1日～2019年12月31日の期間に、大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科において、アトルバスタチンの処方開始された腎移植後の患者が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、身体情報、既往歴、検査データ、薬剤情報、診療記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部 係員 原林 六華
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学医学部附属病院 薬剤部 係員 原林 六華 電話番号：06-6645-2277